

令和4年度行政事業レビューシート ( 文部科学省 )

事業名	文化政策企画立案			担当部局庁	文化庁	作成責任者				
事業開始年度	昭和42年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	参事官(文化創造担当)(地域文化創生本部) 文化経済・国際課 参事官(文化観光担当)	参事官(文化創造担当)(事務局長) 高田 行紀 課長 板倉 寛 参事官(文化観光担当) 飛田 章				
会計区分	一般会計									
根拠法令(具体的な条項も記載)	文化芸術基本法 第7条			関係する計画、通知等	文化芸術推進基本計画(第1期)(平成30年3月6日閣議決定)					
主要政策・施策	観光立国、クールジャパン、地方創生			主要経費	その他の事項経費					
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	文化行政に関する各種データや資料の収集、調査研究等を行い、文化芸術基本法に基づく「文化芸術推進基本計画(第1期)」(平成30年3月6日閣議決定)や、「政府関係機関移転基本方針」(平成28年3月22日まち・ひと・しごと創生本部決定)等を踏まえた、我が国の文化芸術の総合的な振興を図るための施策の企画・立案に資することを目的とする。									
事業概要(5行程度以内。別添可)	文化政策を戦略的に企画立案するために必要な客観的な情報を得るため、委託調査研究等を行う事業。令和3年度は、①文化芸術の経済的・社会的影響の数値評価に関する調査研究、②大学・研究機関等との共同研究事業、③文化に関する世論調査、④3庁(文化庁、スポーツ庁、観光庁)連携事業として、スポーツと文化を融合させた観光活性化に資する取組を選定・表彰、フォローアップ、⑤「文化芸術立国」の実現に向けたシンポジウムの開催等の事業を実施した。									
実施方法	委託・請負									
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	当初予算	196	239	232	243	144			
		補正予算	-	-	-	-	-			
		前年度から繰越し	-	-	-	-	-			
		翌年度へ繰越し	-	-	-	-	-			
		予備費等	▲ 1	-	-	-	-			
		計	195	239	232	243	144			
	執行額	155	167	164						
	執行率(%)	79%	70%	71%						
	当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	79%	70%	71%						
令和4・5年度予算内訳(単位:百万円)	歳出予算目	令和4年度当初予算	令和5年度要求	主な増減理由						
	文化政策調査業務庁費	162	75	※金額は単位未満四捨五入して記載していることから、合計が一致しない場合がある。						
	文化芸術振興委託費	38	41	移転準備経費の減額による。						
	庁費	16	20							
	文化政策調査業務旅費	12	0.5							
	文化政策調査業務委員等旅費	7	0.3							
	その他	8	7							
	計	243	144							
活動内容(アクティビティ)	文化芸術活動に携わる方々を支援する文化政策の企画・立案の基礎資料とするため、日本や諸外国の文化の経済的価値や地域ごとの文化活動を把握するとともに、大学等と共同研究を行う。									
活動目標及び活動実績(アウトプット)	活動目標	活動指標		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込	5年度活動見込	
	文化芸術推進基本計画(第1期)を踏まえた施策の企画・立案のために行う調査研究の実施	文化芸術推進基本計画(第1期)を踏まえた施策の企画・立案のために行う調査研究など事業の件数	活動実績	件	15	9	8	-	-	
			当初見込み	件	10	10	10	10	-	
単位当たりコスト	算出根拠			単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込		
	執行額(百万円)÷調査研究本数(ただし、調査研究の対象手法等により必要とされるコストが異なる。)			単位当たりコスト	百万円	2.1	3.1	3.2	3	
				計算式	百万円/本数	30.8百万円/15本	27.6百万/9本	25.5百万/8件	29.7百万/10件	

成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 6年度	目標最終年度 -年度		
	前年度に実施した調査の 活用(100%)			結果が政策・施策の検討等 に活用された調査数(終了 予定なし)	成果実績	件	15	9	8	-
目標値			件		15	9	8	10	-	
達成度			%		100	100	100	-	-	
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	実施調査件数									
活動内容 (アクティビ ティ)	各地のスポーツや文化芸術の融合により、新たに生まれる地域の魅力を国内外に発信し、訪日外国人旅行者の増加や国内観光の活性化を図る優れた取組を表彰する。									
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込		
	毎年5件程度を選定	スポーツ・文化・ツーリズム アワードの選定件数		活動実績	件	6	13	10	-	-
当初見込み			件	5	5	5	5	-		
単位当たり コスト	算出根拠		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込			
	執行額(百万円)／スポーツ・文化・ツーリズムアワード 開催回数		単位当たり コスト	百万円	-	1.4	1.6	2.8		
			計算式	百万円/事 業数	-	1.4百万円/1回	1.6百万円/1回	2.8百万円/1回		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 4年度	目標最終年度 -年度		
	平成29年度の応募件数の 70%(20件) ※本指標は令和2年度に 新たに設定した	スポーツ・文化・ツーリズム アワードの応募件数		成果実績	件	-	48	42	-	-
目標値			件	-	20	20	20	-		
達成度			%	-	240	210	-	-		
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	事業実施報告書									
活動内容 (アクティビ ティ)	様々な文化プログラムへの参加を促すことお目的とした、特に20代から30代の若者を対象とする「文化庁×吉本興業シンポジウム ココにもカルチャー ～きっと体験したくなる！あなたの知らない日本文化」の実施(ライブ配信、後日のアーカイブ配信。4コンテンツ)									
活動目標及び 活動実績 (アウトプット)	活動目標	活動指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度 活動見込	5年度 活動見込		
	人材や基盤のぜい弱化に 歯止めをかけるための文化 芸術分野の裾野の拡大	シンポジウム参加をきっかけに、若者を中心とした文化 プログラムへの参加を促す		活動実績	件	-	-	4	-	-
当初見込み			件	-	-	-	-	-		
単位当たり コスト	算出根拠		単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	4年度活動見込			
	全体予算／ 実施回数(動画コンテンツの種類)		単位当たり コスト	百万円	-	-	4.4	-		
			計算式	百万円/ 件	-	-	17.6/4	-		
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	中間目標 3年度	目標最終年度 -年度		
	シンポジウム参加者アン ケートにおいて、「大変満 足」「満足」と回答する人の 割合が80%となることを目 指す。	シンポジウム参加者アン ケートにおいて、「大変満 足」「満足」と回答する人の 割合		成果実績	%	-	78.8	-	-	-
目標値			%	-	80	-	80	-		
達成度			%	-	98.5	-	-	-		
根拠として用いた 統計・データ名 (出典)	シンポジウム実施報告書(現在集計中であり、集計が終わり次第記載(9月中))									
政策 評価、 新経済・ 財政再生 計画と の関係	政策	12 文化芸術の振興								
	施策	12-4 文化芸術を推進するプラットフォームの形成	政策評価書 URL	<a href="https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-12_4.pdf">https://www.mext.go.jp/content/20210922-mxt_kanseisk02-000017742-12_4.pdf</a>						
			該当箇所	施策目標12-4-4、施策目標12-4-5						
	新経済・ 財政再生 計画 取組 事項	分野:	文教・科学技術	4. 官民一体となった文化の振興						
(新経済・財政再生計画改革工程表 2021) URL:		<a href="https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/031223_divided/report_211223_2_2.pdf">https://www5.cao.go.jp/keizai-shimon/kaigi/special/reform/031223_divided/report_211223_2_2.pdf</a>								
	該当箇所	103ページ								

事業所管部局による点検・改善

項目		評価	評価に関する説明
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。	○	本事業は、「文化芸術推進基本計画(第1期)」等を踏まえた施策の企画・立案のための必要な調査研究等を行うものであり、国民や社会のニーズを反映した文化施策を実施するうえで、基礎となるものである。
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	○	本事業は「文化芸術推進基本計画(第1期)」等を踏まえた施策の企画・立案のために必要な調査研究等を行うものであり、国が実施すべき事業である。
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。	○	政策目的を達成するための施策の企画立案に向けた調査研究等を行うものであり、優先度の高い事業である。
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	一般競争入札による支出先の選定を行うこと等により、選定の妥当性や競争性を確保している。一者応札となった案件があったところ、仕様も同業他社の参加を不当に制限するものではなく、公告期間も十分に設けているものではあるが、一者応札の状況が改善されるようさらに検討していく。
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。	有	
	競争性のない随意契約となったものはないか。	無	
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○	委託実施要項等に支出対象となる費目を定めており、受益者との負担関係は妥当であると判断する。
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。	○	委託実施要項等に支出対象となる費目を定めており、単位当たりコストの削減に努めている。
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○	再委託は、事業を効果的・効率的な実施にあたり、必要かつ合理的な範囲に限定している。
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○	委託実施要項等に支出対象となる費目を定めており、事業実施に必要なものに限定している。
不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	-	-	
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。	○	委託実施要項等に支出対象となる費目、帳簿の整理等を定め、コスト削減・事業効率化に努めている。実績報告書の精査を行うことで、より適正かつ効率的な予算執行に努めている。	
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	○	調査毎に報告書として結果を公表している。
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	一般競争入札による支出先の選定を行うことにより、低コストで事業を実施している。また、事業内容や事業体制の妥当性、実施方法の効率性等を評価した上で、事業を実施している。
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○	年度毎に時宜に応じた調査研究などを実施し、施策の企画立案に必要なデータの収集・調査結果に基づき考察を行っている。
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○	年度毎に時宜に応じた調査研究などを実施し、施策の企画立案に活用している。
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	-	
	事業番号	事業名	
点検・改善結果	点検結果	本事業は、「文化芸術推進基本計画(第1期)」等を踏まえた施策の企画・立案に向けて、年度毎に時宜に応じた調査研究等を行っているものである。 一般競争入札による委託先の選定を行うこと等による競争性・効率性を確保し、同時に質も担保している。	
	改善の方向性	引き続き、十分な公告期間を確保しつつ、外部の専門家や有識者を含む選定委員会による内容の精査等を行うことで、適切な事業実施に努める。	
外部有識者の所見			
外部有識者による点検対象外			

行政事業レビュー推進チームの所見

の事業  
改善  
部内  
改容

この事業は事業目的は明確であるが、予算執行に当たって、一者応札になる等の競争性が十分に働いていない状況も見受けられるため、公告期間、仕様等について検証を行い、より効率的な事業実施となるよう努めるべきである。

所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況

執行  
善等  
改

これまでも契約の競争性・公平性・透明性の確保を図っているところであるが、引き続き、事業者が企画提案の準備期間をより確保できるよう十分な公告期間、周知期間を確保する。また、契約期間が長くなるように入札時期を早めた。さらにより多くの応募者が参加できるよう仕様内容の精査を検討する等により、今後も契約の競争性・公平性・透明性の確保を図ってまいりたい。

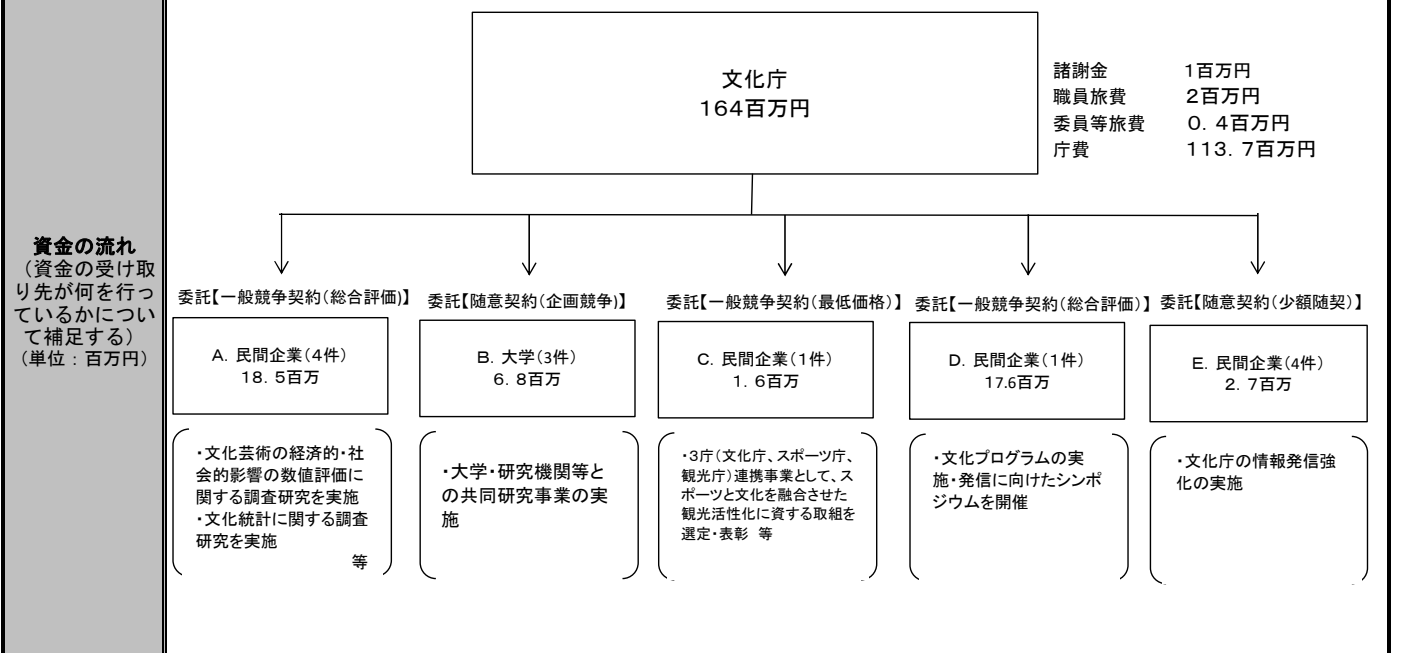
備考

報告書等掲載ページ  
 ○文化行政調査研究  
[https://www.bunka.go.jp/tokei\\_hakusho\\_shuppan/tokeichosa/bunka\\_gyosei/index.html](https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/bunka_gyosei/index.html)  
 ○文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業(公募型共同研究)  
[https://www.bunka.go.jp/tokei\\_hakusho\\_shuppan/tokeichosa/1416056.html](https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/1416056.html)  
 ○文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業(提案型共同研究)  
[https://www.bunka.go.jp/tokei\\_hakusho\\_shuppan/tokeichosa/1416057.html](https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/1416057.html)  
 ○文化庁と大学・研究機関等との共同研究事業(令和2年度)  
[https://www.bunka.go.jp/tokei\\_hakusho\\_shuppan/tokeichosa/93224601.html](https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/93224601.html)  
 ○文化に関する世論調査の結果について  
[https://www.bunka.go.jp/tokei\\_hakusho\\_shuppan/tokeichosa/bunka\\_yoronchosa.html](https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/bunka_yoronchosa.html)  
 ○諸外国の文化政策に関する調査研究  
[https://www.bunka.go.jp/tokei\\_hakusho\\_shuppan/tokeichosa/kaigai\\_seisaku.html](https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/kaigai_seisaku.html)  
 ○地方における文化行政の状況について  
[https://www.bunka.go.jp/tokei\\_hakusho\\_shuppan/tokeichosa/chiho\\_bunkagyosei/index.html](https://www.bunka.go.jp/tokei_hakusho_shuppan/tokeichosa/chiho_bunkagyosei/index.html)  
 ○Culture NIPPON シンポジウム  
<https://culture-nippon.go.jp/ja/symposium>

関連する過去のレビューシートの事業番号

平成23年度	415			
平成24年度	438			
平成25年度	403			
平成26年度	402			
平成27年度	398			
平成28年度	381			
平成29年度	389			
平成30年度	393			
令和元年度	文部科学省 - 0376			
令和2年度	文部科学省 0376			
令和3年度				

※令和3年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	A. 株式会社 シー・ディー・アイ			B. 獨協大学		
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
	人件費	人件費	6.8	事業費	諸謝金、雑役務費、消耗品費等	2.7
	事業費	諸謝金、雑役務費、旅費等	2.2	一般管理費	一般管理費	0.3
	一般管理費	一般管理費	0.9			
	計		9.9	計		3
	C.株式会社 ヒップ			D.吉本興業株式会社		
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
	人件費	賃金	1	外部委託	委託事業を実施する事業者の公募・選定、実施結果の報告・管理業務	17.6
事業費	謝金、旅費、雑役務費等	0.5				
一般管理費	一般管理費	0.1				
計		1.6	計		17.6	
E.株式会社ロックストック			F.			
費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)	
事業費	広報デザイン支援	1				
計		1	計		0	

支出先上位10者リスト

A.

	支 出 先	法 人 番 号	業 務 概 要	支 出 額 (百万円)	契 約 方 式 等	入 札 者 数 (応募者数)	落 札 率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	株式会社シー・ディー・アイ	4130001003076	令和3年度「文化行政調査研究」文化芸術の経済的・社会的影響の数値評価に向けた調査研究事業	10	一般競争契約 (総合評価)	1	97%	-
2	株式会社文化科学研究所	8010401025918	令和3年度「文化行政調査研究」自治体文化財団等に関する調査研究事業	4	一般競争契約 (総合評価)	1	87%	-
3	株式会社one	3011001069046	令和3年度「文化に関する世論調査」	4	一般競争契約 (総合評価)	2	91%	-
4	株式会社シー・ディー・アイ	4130001003076	ユネスコモデルに基づく諸外国の文化GDPの算出に関する業務	0.3	随意契約 (少額)	-	-	-

